



CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

世界級選手が実力発揮

7月7日と8日に正田醤油スタジアム群馬でジャパンパラ陸上競技大会が開催され、国内外の有力選手が競い合いました。また、6日にはパラリンピックに出場した花岡伸和さんが城南小で講演。好きなことを突き詰めていくことの大切さなどを6年生に語りました。



そろいの浴衣で夏祭り

7月5日から8日まで、七夕まつりを開催。浴衣姿の人や家族連れなど、多くの人が七夕飾りと共に中心市街地を彩りました。訪れた人は、自分の作った七夕飾りと一緒に写真を撮ったり、屋台のゲームに挑戦したりして、年に一度の祭りを楽しみました。



館内で涼しく作品鑑賞

アーツ前橋で、昭和時代を映した写真の展示と、時をテーマにした展覧会を同時開催中。会期中は学芸員によるギャラリーツアーで来場者に作品の魅力を伝えています。両展示とも9月まで開催。概要や関連イベントは同館ホームページなどをご覧ください。

「18年前に犬を飼い始めたことがきっかけで迷子の犬を保護するようになり、その頃から保護活動に関心を持つようになりました」
県内で犬猫の保護を行うボランティア団体「DOG RELIEF GUNMA」のメンバーとして活動する桑原さん。保健所の譲渡会の手伝いや保護した犬猫の里親探しなどを行う。迷子で収容される犬が多いため、飼い主への呼び掛けにも力を入れている。

「花火や雷の音が苦手な犬はたくさんいます。パニックになり迷子の原因になることも。古くなって傷んだ首輪や係留用品は交換したり、迷子犬の幸せに繋がっていく。」
「源太は譲渡先でのんびりと幸せに暮らしています。活動の課題の一つである殺処分との解決は、里親へつなげる活動と並行して、適正飼育の大切さを次の世代に伝えていく活動が大切だと思います」

「行政と協力し、前橋って意識高いねと言われる活動をしていきたいですね」そう言いながら犬へほほほ笑みかける桑原さん。この愛情が、犬猫たちの幸せにつながっていく。

犬猫たちの幸せな生活取り戻す



「春の駅家木馬まつり」では広瀬川沿いを歩きます

このコーナーでは、前橋工大で日々行っている研究内容や暮らしに役立つ豆知識を各学科から紹介。今回は建築学科で建築史を担当する、講師の白井敬太郎さんがお届けします。

暮らしに密着 工大LABO

前橋工大
☎ 027-265-0111

Vol.2

今回は
建築学科です



境・設備の3分野で構成。社会福祉や自然環境への配慮、健康や豊かさなどの視点から、建築と都市のデザインやマネジメントを推進する設計者と技術者の育成を目指しています。

私は、学生の郷土愛も育てたく、前橋の歴史的魅力を学生と分かち合うため建築見学会を開催したり、街のにぎわいづくりに参加したりしています。

例えば、前橋の語源、厩橋にちなんで行っている「春の駅家木馬まつり」では昨年、実行委員会から依頼され、学生とみこし制作に協力しました。みこしに前橋の名建築が描かれているように、みこしのルートは名跡巡りになっています。中心市街地の大蓮寺から広瀬川沿いをさかのぼり、臨江閣、るなばあく、前橋城趾、幸の池を経て利根川に至ります。前橋を潤してきた水脈に沿って江戸から平成まで名所旧蹟が連続的に現れる体験は新鮮です。

広瀬川から徒歩で楽しむ歴史探訪、皆さんもいかがでしょうか。

今回は、情報科学と生命科学の双方を研究している生命情報学科からお届けします。